

福島高専地域フォーラム 「産学官連携のつどい」について

2008年1月28日

独立行政法人国立高等専門学校機構

福島工業高等専門学校

1. 趣旨

平成19年度東北経済産業局では、東北地域経済の持続的な発展をめざして「地域経済の持続的成長を実現する産業群の育成」、「活力あふれる地域社会の実現」、及び「持続可能な経済システムを目指した資源・エネルギー政策の推進」が重点施策として推進されることとなった。「地域経済の持続的成長を実現する産業群の育成」では人財育成が取り上げられ、「地域の大学、工業高等専門学校、工業高校、産業界、関係機関等との連携による産業界のニーズを的確に反映した高度な産業人材の育成、中小企業の若手技術者の育成・確保、工業高校における実践的なモノ作り教育及びアジア等の留学生に対する高度な人材育成と就職支援等を通じて、地域の産業人材の育成を推進する」こととされ、中小企業産学官連携製造中核人材育成事業、高専等活用中小企業人材育成事業などが行われている。

福島県いわき市は、東北において工業出荷額がナンバー1であり、人口においても仙台に次ぐ東北第二の都市である。平成15年度に「いわき市戦略産業育成支援プラン」が策定され、戦略産業別アクションプログラムとして「環境ビジネス」、「観光ビジネス」、「健康ビジネス」及び「木材ビジネス」の4分野を育成支援対象戦略産業分野として、戦略産業の育成・支援に向けて、域内全般における産業振興を推進する観点から、中央省庁・福島県や学術機関をはじめとする各種支援機関、民間団体・企業等と連携協力して推進すべき取組みとするとされた。

従来においても、福島県、あるいはいわき市において、国立工業系高等研究・教育機関である福島高専は、産学官連携の様々な取り組みにより、地域社会への貢献を行ってきた。平成16年度からの独立行政法人化において、これまでの学校教育基本法に定められた「職業に必要な能力を育成する」こととともに、「創造的な人材の育成」がその目的となっている。

そこで、本年度、「人の交流（つながり）産業（わざ）の輝き」と基本理念に、産業交流、産業支援、新産業創造の3つの機能を備え、地域産業の活性化を図る総合的な拠点施設である「いわき産業創造館」の整備に伴い、本校で試みられたこれまでの取り組みを越えて、東北経済産業局、福島県、いわき市、あるいは地域企業等と連携し、新産業創出、あるいは新企業創出に資する人材のあり方について、講演会を中心としたシンポジウムを行ない、いわき地域の産学官連携の一層の推進と地域人材のさらなる育成を図ろうとするものである。

2. テーマ

「地域活性化のための人づくり」

3. 主催

主催 福島工業高等専門学校

共催 いわき市、福島工業高等専門学校協力会、社団法人いわき産学官ネットワーク協会

なお、東北経済産業局、福島県、及びいわき商工会議所に後援をお願いする。

4. 対象

一般企業、地元自治体、大学等の産学官連携への興味のある団体、及び本校等教職員並びに学生。

5. 日時

平成20年2月14日(木)

つどい 午後3時より午後5時40分(終了時間は予定)

交流会 午後6時より午後7時30分(終了時間は予定)

6. 会場

いわき産業創造館

いわき市字田町120番地 LATOV(いわき駅前再開発ビル)6F

TEL 0246-21-7150(指定管理者 いわき産学官ネットワーク協会)

7. 内容

(1) 講演会(60分)

赤津光一郎 東北経済産業局長

「地域活性化のための人づくり」

(2) パネルディスカッション(90分程度)

「いわき地域における「地域活性化のための人づくり」

福島県いわき地方振興局長

三瓶博文氏

いわき市商工観光部長

若松勇四郎氏

いわき商工会議所副会頭

常磐共同火力(株) 常務取締役 中山哲男氏

(株)東日本計算センター

代表取締役社長 鷲 弘樹氏

福島工業高等専門学校校長

奈良宏一

パネルディスカッション、コーディネーターは渡部。

司会は、伊藤正義地域環境テクノセンター長(物質工学科教授)

(3) 交流会